



安岡 明雄
(市民の声)

がん対策推進計画の策定を急ぐべきだ

質 豊島区はがんにならない生活習慣により健康づくり全般につなげている。そのためにがん対策推進計画を策定した。本市も国県と連動し市民の健康、命を守るため策定すべきだ。

答 市では、のしる健康21推進委員会において、平成25年度からの新たな健康づくり計画策定に向けた取り組みを始めたところである。24年度はがん撲滅運動推進会議を設置し、外部団体の方々の意見を取り入れながら協議するとしており、その意見も反映させながら新計画の中になん対策についての計画も組み入れた。

パブリックコメント制度を確立すること

質 市憲章、花木鳥は広報に募集掲載せず、11日間で実施したため、当局から陳謝があった。反省を生かすためにも募集期間30日、広報のしる掲載など制度化すべきではないか。

答 市には行政手続法の適用はないものの、計画等を策定する際には広報やホームページ等で周知し、パブリックコメントを行うようにしている。しかし、現在、意見募集の期間や周知の手段等実施方法が統一されていないことから、国や他の自治体の例を参考にしなが、市としての実施要綱等を定めたいと考えている。

その他の質問事項

- 非可逆的存在としてのまちづくり
- 議事堂はトータル的な比較が必要
- 本庁で議会開催すべきではないか



菊地 時子
(日本共産党)

再生可能エネルギー導入促進

質 市は災害時に電力会社からの電力供給がなくてもエネルギーを自給できるシステムの確立を目指しているが、太陽光発電の公共施設や一般への導入推進はどう考えているか。

答 市施設への導入は県の公共施設再生可能エネルギー等導入事業を活用し、市内小中学校等へ停電時の必要最小限の電力確保設備を導入予定で、今後、計画期間内で公共施設への導入推進に努めたい。また一般には市住宅リフォーム緊急支援事業補助金の対象となり、この事業活用を周知し導入推進に努めていきたい。

高齢者の負担増にどうこたえるか

質 「高齢者が住みなれた我が町でいつまでも安心して暮らせるまちづくり」を基本理念とする計画が示されたが、介護保険料引き上げに悲鳴を上げていく。負担増にどうこたえるか。

答 第5期計画での介護保険料は基準月額で31.5%増の5,525円となっている。高齢者の負担感にこたえるため、24年度は軽度生活援助事業の除雪専用券の拡充など従来からの高齢者支援策の充実を図るとともに、新たな施策として元気・交流200円バス事業などさまざまな施策を展開することでその解消に努めたい。

その他の質問事項

- 参加しやすい介護予防教室に
- 子どもの医療費中卒まで助成を
- 就学援助、認定基準の引き上げを



庄司 紘八
(よねしろ会)

東能代駅名と駅周辺の課題

質 活気ある町は駅頭が整備され、初めて来た人もわかりやすく親切である。市民にも駅を利用するための多くの施策が施され、駅名も本線に市の名前があることが重要である。

答 駅名の変更は、変更を必要とする客観的な事由と具体的な効果を明らかにし、全市的な合意形成のもとで慎重に取り組む必要があるほか、実態に裏打ちされたものであることも必要と考える。市としては名称変更の有無にかかわらず、本市を訪れたいと思えるような魅力あるまちづくりを進めたい。

除雪費の予算措置

質 初雪が根雪になったこの冬は、市民にとっても大変厳しいものであった。予算を使い切り、2度の補正を行った。予算のとり方が少なく、思い切った措置がとれない気がした。

答 除雪費については、過去の実績に基づき予算を計上している。また、除雪は基準に基づいて実施している。予算に不足が生じた場合は、市民の生活に支障がないよう、万全を期したいと考えている。

その他の質問事項

- 修学旅行及び合宿誘致に市の助成を
- 国保加入無傷病者への対応
- 高速道路を避難場所として利用を